

緩和ケアだより

ひだまり

第21版
平成30年10月
公立八鹿病院 緩和ケア病棟



秋も深まり、朝夕めっきり冷え込むようになってきました。秋祭りも終わり、少し寂しい気持ちになってきてはいませんか。体調は崩されていませんか。天空の城「竹田城跡」の雲海も見頃となってくることでしょう。季節を感じて楽しいことを見つけ元気に頑張っていきましょう。

今回は緩和ケア病棟での音楽療法についてのお話をさせていただきます。

♪♪ 音楽療法士 竹末千賀子さんより

当院では2000年より音楽療法士が常勤しています。緩和ケア病棟でも、週一回（火曜日 14:15~14:45）、音楽療法を行なっています。また、ご希望に応じて個別での音楽療法もおこなっています。

～『あなたの好きな曲、聴きたい曲を、おしえてください』～

誰もが、自分だけの特別な曲をお持ちではないでしょうか？

好きな曲や懐かしい曲、時代を象徴するような曲、聴くだけで思い出がよみがえる曲…

人生の節目に寄り添い、見守り、心の拠り所となった音楽…

音楽療法では、患者さんやご家族の大切な思い出や心にしまっている思いを、音楽を通して聞かせていただき、おすそ分けしていただいています。また音楽は、なかなか言葉に出来ない思いを伝えたり、代弁してくれることもあります。

緩和ケア病棟での音楽療法では、思わず笑顔になったり、ご家族と一緒に歌われる患者さんがたくさんおられます。穏やかであたたかい時間が少しでも増えますよう、最期まで自分らしく過ごしていただけますよう、お手伝いさせていただきたいと思っております。



毎週季節に合った歌や
患者さんの希望に沿った
歌を提供しています。



オカリナとピアノの生演奏♪
とってもきれいな音色に
癒されます♪

オカリナの演奏ボランティアさんがお越しくださり、音楽療法士の竹末さんと一緒にミニコンサートが開かれました。

患者さんやご家族は、音楽療法を楽しみにされており「今日は、こんな曲をリクエストしたよ」と看護師に話をしてくれます。こうして音楽を通して患者さんの過ごされた日々を振り返ることは、緩和の症状コントロールと共に大切なケアと考えています。

また、2ヶ月に1回程度音楽療法の後に絵手紙教室が開催され、ご家族の方にも参加していただいています。最初は皆さん緊張されていますが、書いているうちに真剣な顔になります。そして、皆さんの笑顔と共に、世界にひとつしかないステキな絵手紙が完成します。



【今月の作品です】



～編集後記～

季節の音楽を聴き、季節の絵を見て、季節を感じることは素敵なことだなあと実感します。紅葉を楽しんだり、美味しいものを食べたり、寒さに負けないからだづくりを心がけたいですね。（編集委員）